

記入例

男鹿市長 殿

監護相当・生計費の負担についての確認書

受付印

私は、以下に記載する者（注1）について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること（注2）（以下「監護相当・生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。
申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注1 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないもの（詳細は裏面を参照）

注2 申立人の収入により日常生活上の全部または一部を営んでおり、かつ、これを欠くと通常的生活水準を維持することができない場合

記

1	ふりがな 氏名 おが いちろう 男鹿 一郎		生年月日 平成 令和 YY年MM月DD日				住所 男鹿市〇〇字□□△△番地																
	個人番号		続柄	職業等（いずれかに○）※				通学先（学生の場合のみ）				卒業予定時期 （学生の場合のみ）				申立人による監護相当の状況（いずれかに○）				申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）			
	0000000000000000		子	学生・無職・その他				◇◇大学				令和 Y 年 MM 月				1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）				1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）			
	住所が市外の場合は、個人番号欄への記入が必ず必要です。																						
2	ふりがな 氏名		生年月日 平成 令和 年 月 日				住所																
	個人番号		続柄	職業等（いずれかに○）※				通学先（学生の場合のみ）				卒業予定時期 （学生の場合のみ）				申立人による監護相当の状況（いずれかに○）				申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）			
				学生・無職・その他								令和 年 月				1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）				1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）			
	学生の場合は必ず記入が必要です。 進学先が短大・専門学校である等、22歳年度末より前に卒業予定年月が到来する 算定対象の子がいる受給者については、子の卒業年月の到来前に、引き続き算 定対象とする場合は再度「監護相当・生計費の負担についての確認書」を提出す るよう通知書を送付予定です。																						
3	ふりがな 氏名		生年月日 平成 令和 年 月 日				住所																
	個人番号		続柄	職業等（いずれかに○）※				通学先（学生の場合のみ）				卒業予定時期 （学生の場合のみ）				申立人による監護相当の状況（いずれかに○）				申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）			
				学生・無職・その他								令和 年 月				1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）				1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）			

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 Y年 MM月 DD日

【申立人】（児童手当の請求者・受給者）

住所 男鹿市船川港船川字泉台66番地1

氏名 男鹿 太郎

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。